

人と自然が輝くまち

広
報

たてしな

2015.6
[平成27年]

号外

町民の「思い」と
「想い」を大切に



立科町マスコットキャラクター
「しいなちゃん」



町長就任のあいさつ

立科町長 米村匠人

暑気にわかに加わり、衣替えの季節となりました。皆様方におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、町民の皆様の負託を受け、立科町長に就任いたしました。

多くの町民皆様よりお寄せいただきました声を町政に反映させるべく、職員と一致団結し皆様の期待と信頼に応え、町民の「思い」と「想い」を大切にする心に寄り添う優しい町づくりを全力で取り組む所存でございます。

この町にも少子高齢化の波が押し寄せ地域経済も厳しい現状にあり、若者の求人も少なく団塊の世代も一斉に就労現場より退かれ就労人口の激減が浮き彫りになっていきます。

当町の行財政運営も大変厳しく予断を許さない状況にあります。行政だからできる事、行政だから行わねばならない事をしっかりと認識し、メリハリのある行財政運営を行っていかねばなりません。

少子高齢化社会に対応出来る福祉・子育てや教育支援について町民の声を聞き、行政と共に支え合う仕組みを作らなければならないと考えております。

「元気なお年寄りの方々には巧みの技と知恵袋を活かせる事が出来るように」「障がいを抱える子供達や

家族のために、心にハードルの無い社会作りを」「子供達の未来に夢と希望が持てる町づくり」など、環境も整えなければならないと考えております。

立科町は本年度より、第5次振興計画（立科しあわせプラン）が始動しました。

第3次・第4次の基本理念「人と自然が輝く町」を継承し、10年後に目指す将来像を「澄んだ空！清んだ水！住みよき町に笑顔が弾む！人と自然が輝く町」として掲げ、「健やかに、いつまでも地域で暮らせるまちづくり」「郷土を愛し、心豊かな人を育むまちづくり」「活気ある経済を創造するまちづくり」「豊かな自然とともに暮らす安全・安心なまちづくり」「地域の力で活力あふれるまちづくり」をこれから目指す将来像実現のための基本となる目標として定めました。

町民皆様の思いとアイデア・工夫を反映し、町民主役の町を共に考え、共に築き、約束を実現するため全力で汗をかき働こうと考えております。

合併60周年の節目を迎える立科町で皆様と共に新しい風を吹かせ、誰もが笑顔で「住んで良かった」「訪れて良かった」と思える町に、また「将来に希望を持てる立科町」の実現に向け、誠心誠意努力してまいりますので、町民の皆様方におかれましては、格段のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。



副町長就任のあいさつ

立科町副町長 山浦智城

野山の緑の鮮やかさが目にまぶしい季節を迎えました。このたび私こと、5月13日の臨時議会におきましてご同意を賜り、5月16日付で立科町副町長に就任いたしました。副町長という職責の重さに改めて身の引き締まる思いでございます。立科町の振興発展のため、もとより微力ではありますが、誠心誠意努力してまいります所存であります。何卒よろしくお願いいたします。

さて、我が国が直面している人口減少は今後さらに進むことが予測され、このことは経済をはじめ、様々な面に影響を与えることと考えられます。立科町も例外ではなく、町の人口は、平成22年実施の国勢調査では8,000人を割り込み、依然減少に歯止めのかからない状況であります。こうしたなか、町では、昨年、政府が策定した総合戦略に基づき、独自の地方版の総合戦略を本年度中に策定し、地域の実情にあった具体的な施策を考え、地域振興につなげていきたいと考えています。そのためには、地域の皆さんの声を活かしながら、立科町らしさや地域資源を活かしていくことが大切な要素となります。また、本年度は、立科しあわせプラン「第5次立科町振興計画」前期基本計画の初年度として、「澄んだ空！清んだ水！住みよき町に笑顔が弾む！人と自然が輝く町」を目指すべき将来像に町づくりの第一歩を踏み出すときでもあります。

合併60周年の節目の年に、米村町長の住民の「思い」「想い」を大切に心に寄り添う優しい町政を未来につなげていくためにも、町長を補佐しながら、職員と力をあわせて施策の実現のため、一歩一歩前に進んでいきたいと思っております。

まだまだ若輩者ではありますが、町民の皆さま方のご理解とご支援のほどをお願い申し上げます。就任のごあいさつとさせていただきます。



町長退任のあいさつ 小宮山和幸

この度、4月29日をもって町長の職を退任いたしました。

平成19年5月、立科町長に就任以来、その責任の重さをかみしめながら、自分が生まれ育ったこの立科町を、「住んでよかった、住みたくなる町」を目指して「皆で一緒にふる里創り」を掲げ、町政運営に努めてまいりました。

日本経済は低迷し、少子高齢化、人口減少、所得の格差が広がり、特に地方自治体では国の補助金の縮減、地方交付税の減少など厳しい財政状況が続く中で、創意工夫を凝らし健全財政を堅持していくことが求められておりました。

自立を選択した当町におきましても、三位一体の改革により町税への税源移譲が行われたものの、安定的に交付されてきた所得譲与税や特例交付金等の廃止・縮小も併せ、地方経済や雇用情勢の回復の遅れなど先行きが不透明な状況下で、実効性のある経済対策による地域の活性化と財政の健全化の両立という困難な財政運営が求められる中、事務事業の見直しや町税をはじめとする自主財源の確保対策に努め、地域社会における自助・共助・公助を基本として、町民皆様と行政が力を合わせて、この難局を克服し自立を確かなものとしていくことが私の使命であると感じておりました。

私は安定した財政の健全化を考えたとき、経営的視点に立ち、徹底した財政改善の必要性を感じ、まずは返済額のピークは過ぎたものの、就任当時18%を超えていた実質公債費比率の改善や、必要性・緊急性を見極めた事業の選択と集中を常に念頭に置き事務事業を遂行してまいりました。

懸案でありました実質公債費比率の改善につきましても、上下水道事業をはじめとする年利5%以上の借入金の繰上償還を行い、平成25年度決算において4.6%までに改善ができましたことは、町民皆様方のご理解と職員の努力による賜物と考えております。

また、少子高齢化、人口減少問題は深刻な状況であり、町の高齢化率は30%を超え、今後更に、核家族化が進み一人暮らし高齢者や高齢者夫婦世帯が増加することが予想される中で、高齢者が地域で安心して生活が続けられるために介護サービス等の充実が急務でありました。社会福祉施設のあり方を検討し、徳花苑の増床移転、地域密着型介護福祉施設の機能強化等、真に必要なサービスを提供する環境を整えるため、社会福祉法人を設立し介護サービス事業の移管を選択し、更なる高齢者福祉の充実が期待されるものと確信しております。

産業振興につきましても、日本100名山のひとつ蓼科山を擁す立科町では、その計り知れない恩恵を経営資源とした農業・観光・商工業振興に結びつけた立科ブランドの構築などにも力を注いでまいりましたが、豊かな自然を持つ立科町が全国に力強く根付いていく起爆剤となることを願っております。

任期中、進めてまいりました全ての施策は、立科町の将来に備え、自立を確かなものにすると思っております。

次代を担う子ども達が夢を持ち、ふるさと「立科町」を愛し、明るい未来を描けるよう、更なる子育て支援・住民福祉・産業振興の充実に向け、町民の幸せ・満足度が実現する町政であることを心から祈っております。

最後になりますが、苦しくも充実した2期8年でありました。貴重な経験もさせていただき、これも偏に町民皆様のお力添えのお陰と、改めまして感謝申し上げます。立科町の限らない発展と町民皆様のご健勝・ご多幸を祈念申し上げます、お礼のごあいさついたします。

副町長退任のあいさつ

森澤光則

このたび、平成27年5月15日付けをもちまして、副町長の職を退任いたしました。

昭和45年に当町に奉職以来、福祉、税制、農政などの業務に従事し、平成19年には副町長に就任させていただきました。

この間、45年間に亘り立科町の町勢発展とともに町民の皆様方並びに議会をはじめ、関係各位の温かいご理解とご協力をいただき、町づくりに従事できましたことに深く感謝を申し上げます。

今後は、一町民として立科町の更なる発展と輝かしい未来を願い、微力ながらお役に立てればと思っております。最後に、皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます、退任のごあいさついたします。長い間ありがとうございました。



立科町監査委員に

寺島秀勝氏

滝沢寿美雄氏が

就任しました

5月13日(水)の臨時議会において、寺島秀勝氏、滝沢寿美雄氏が議会の同意を得て、監査委員に選任されました。

寺島氏は、町の財務管理、事業の経営管理その他行政運営に関して優れた識見を有する方として代表監査委員に選任されました。

滝沢氏は、議員の中から推薦され、監査委員に選任されました。

これまで4年にわたり、監査委員を務めていただいた市川泉氏、箕輪修二氏は、任期満了をもって退任されました。



代表監査委員
寺島 秀勝氏
(日向)



議会選出監査委員
滝沢 寿美雄氏
(町)

職員人事異動

平成27年6月1日付

()内は旧職名・前所属等

機構改革

○総務財政係を分割して庶務係と財政係となりました。

総務課

総務課長 長坂 徳二

(総務課長兼会計管理者兼会計室長)

庶務係

庶務係長 竹重 和明

(教育委員会社会教育人権政策係長)

伊藤 千織 (総務課総務財政係)

市川 知佳 (総務課総務財政係)

土屋 孝大 (総務課総務財政係)

武重 栄吉 (総務課総務財政係)

財政係

財政係長 田口 仁

(総務課総務財政係長)

岩下 洋平 (総務課総務財政係)

総合政策課

◆企画振興係

遠山 直樹 (新規採用)

町民課

◆住民福祉係

青木 徳子 (新規採用)

建設課

◆上下水道係

小淵 正弘 (総務課総務財政係)

会計室

会計管理者 (兼会計室長兼会計係長)

市川 正彦 (会計係長)

教育委員会 社会教育課

◆社会教育人権政策係

社会教育人権政策係長 市川 偉

(建設課上下水道係)

武重 公大 (新規採用)

新規採用職員紹介

総合政策課企画振興係



遠山 直樹
(日中)

立科町の発展に貢献できるように頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。

町民課住民福祉係



青木 徳子
(茂田井)

町民の皆様のため精一杯頑張ります。よろしくお願ひします。

教育委員会社会教育課社会教育人権政策係



武重 公大
(町)

立科町の発展のため、とにかく頑張り続けます。

